



少年少女スポーツ（バスケットボール）

会場地：朝来市（旧：山東町）

競技紹介

少年少女スポーツのバスケットボールは、小学生のためのバスケットボールで、ボールが小さい、ゴールが低いなどの特徴があります。

試合は4クォーター制で、第1クォーター6分、クォータータイム1分、第2クォーター6分、ハーフタイム5分、第3クォーター6分、クォータータイム1分、第4クォーター6分で行います。

1チーム、10～15人で編成し、第1クォーターから第3クォーターまでの間に10人がコート上でプレーすること。また、第1クォーターから第3クォーターまで連続してプレーする選手がいてはいけない等のルールがあります。

小学生の身体特性に合わせた競技方法でバスケットボールを行うことで、スポーツの楽しさ、素晴らしさを一人でも多くの子供たちに知ってもらいたいと考えています。



競技方法

少年少女スポーツ（バスケットボール）はミニバスケットボールと呼ばれ、小学生を対象に行います。

ルールは日本バスケットボール協会ミニバスケットボール競技規則に準じて行います。

男女各18チーム、計36チームが5会場（6コート）に分かれ、各コート3チームによる総当り戦を行い、コート毎に順位を決定します。

競技場の概要

【会場】

朝来市立^{やなせ}梁瀬中学校体育館

朝来市立^{あわが}粟鹿小学校体育館

西宮市立山東自然の家体育館

朝来市立梁瀬小学校体育館

朝来市立^{ようど}与布土小学校体育館



梁瀬中学校体育館



梁瀬小学校体育館



粟鹿小学校体育館



与布土小学校体育館

朝来市(旧:山東町)では毎年、ミニバスケットボール大会のヒメハナカップ(女子チームのみ参加)を開催して、近畿圏の強豪チームと交流を行い、地元チームの育成・強化を図っています。

